

日豪若手研究者交流促進事業
(Australia-Japan Emerging Research Leaders Exchange Program)
第2回交流における豪州研究者受け入れについて

平成24年11月15日
社団法人日本工学アカデミー

1 事業概要

本事業は平成20年の日豪政府間合意に基づき、次世代研究リーダー育成と科学技術交流促進を目的として実施されるもので、(独)日本学術振興会、(社)日本工学アカデミー及び豪州工学アカデミーの3機関が協力して運営に当たり、両国大使館も積極的に協力している。

予め両国で合意された3つの応用研究領域における若手～中堅(45歳以下)の研究者が、各回8名ずつ相手国に約2週間滞在し、個別に複数の研究機関を訪問することにより、緊密な研究協力関係の構築を図る。

参加研究者は、個人的ネットワークや研究組織間連携の開拓・強化を通じて、両国間の研究協力の具体的な事例を開拓し、或いは既存の協力事例の推進を図る。将来的には日豪の懸け橋として両国の科学技術、経済の発展に貢献することが期待されている。

2 豪州研究者の受入れ

- ・ 受入期間:2013 年3 月2 日(出発)から16 日(帰国)
- ・ 受入対象領域および受入研究者:
 - “Health and Technology”
 - Susan Kaye Nilsson (CSIRO)
 - Brendan John Jenkins (Monash Institute of Medical Research)
 - “ICT”
 - Benjamin Andrew Burton (Univ. of Queensland)
 - Christopher Michael Kellett (Univ. of Newcastle)
 - Lim Chee Peng (Deakin University)
 - “Nanotechnology and New Materials”
 - Falcaro Paolo (CSIRO CMSE)
 - Attila Janos Mozer (Univ. of Wollongong)
 - Christian James Doonan(Univ. of Adelaide)
- ・ 行動予定:
 - 3月3日(日) 到着
 - 3月4日(月) 午前:オリエンテーション 午後から研究機関訪問
 - 3月5日(火)～3月14日(木) 研究機関訪問(詳細は追って決定する)
 - 3月15日(金) 午前:報告会(ホスト研究者も可能な限り出席) 午後帰国
- ・ 訪問について
 - 訪問先の手配は日本工学アカデミーが本人の希望を優先して行い、訪問日程は8名とも異なる。
 - 各訪問先には研究者が単独で伺う
 - 訪問は通常半日ないし丸一日かけ、次のような内容を含む
 - ホスト研究者及び関連研究者との意見・情報交換、提携の可能性協議
 - 研究施設見学
 - セミナー形式での訪問者の研究発表会(ホスト研究者以外の関係者も対象)
 - 同一研究機関内の関連研究者歴訪
- ・ 期待される成果
 - 訪問中に今後双方の間で何らかの研究協力が可能かどうかを探り、具体的な協力の進め方を検討する。過去には次のような協力例がある。

- 共同研究、論文の共同発表、研究施設の相互利用、開発機材の購入
- 国際シンポジウム・ワークショップ・セミナーなどの共同企画・運営
- 研究室員や院生などの相互訪問、学生指導への協力、日常的な情報交換、など

3 過去の交流実績

【第1回交流】

日本→豪州

- ・ 派遣期間:2010年2月13日(出発)から27日(帰国)
- ・ 派遣対象領域および派遣研究者:
 - “Energy and Environment”
 - 川喜多仁(物質・材料研究機構) 谷本 潤(九州大学) 林 浩志(三菱マテリアル)
 - “Novel Materials and Resources”
 - 足立吉隆(物質・材料研究機構) 越野雅至(産業技術総合研究所)
 - “Biotechnology and its Medical Application”
 - 大橋俊朗(北海道大学) 後藤デレック(北海道大学) 竹内 純(東京工業大学)

* 派遣当時の所属を掲載

豪州→日本

- ・ 受入期間:2010年11月13日(出発)から27日(帰国)
- ・ 受入対象領域および受入研究者:
 - “Energy and Environment”
 - Venkata Kambala (Univ. of South Australia)
 - Declan Page (CSIRO Land and Water)
 - Daniel Roberts (CSIRO Coal Technology)
 - “Novel Materials and Resources”
 - Wenlong Cheng (Monash Univ.)
 - Gavin Conibeer (Univ. of New South Wales)
 - Akshat Tanksale (Univ. of Queensland)
 - “Biotechnology and its Medical Application”
 - Julie Nigro (CSIRO Molecular and Health Technologies)
 - Jian Tu (Macquarie Univ.)

【第2回交流】

日本→豪州

- ・ 派遣期間:2012年2月18日(出発)から3月3日(帰国)
- ・ 派遣対象領域および派遣研究者:
 - “Health and Technology”
 - 伊藤一秀(九州大学) 黒田知宏(京都大学) 鈴木孝司(東京女子医科大学)
 - “ICT”
 - 松本吉央(産業技術総合研究所)
 - “Nanotechnology and New Materials”
 - 雨倉 宏(物質・材料研究機構) 大久保貴広(岡山大学)
 - 大平圭介(北陸先端科学技術大学院大学) 古川修平(京都大学)

本件に関するお問い合わせ先: 社団法人日本工学アカデミー
事務局 田中美幸

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館4F

E-mail: academy@ej.or.jp Tel: 03-5442-0481 Fax: 03-5442-0485